支援プログラム

重心型児童発達支援及び放課後等デイサービス リベルテ

サービス：児童発達支援（未就学児）

1. 基本方針

重症心身障害児及び医療的ケアを必要とする児童が、安心・安全な環境の中で、健康状態や発達段階、意思・感覚特性に応じた支援を受け、自分らしく過ごしながら心身の発達と生活の質の向上を目指す。医療・福祉・保育等の関係機関と連携し、家族の不安や負担にも配慮する。

2. 支援の目標

・体調の安定と安全を確保し、快適に過ごす。　・姿勢や身体の動きを整え、感覚や周囲への気づきを広げる。
・表情、視線、発声、身体の動き、スイッチ等で意思を表現する機会を増やす。　・身近な人との関わりや遊びを楽しむ。
・保護者と情報を共有し、家庭での生活や養育を支える。

3. 具体的な支援内容（5 領域）

領域	支援内容・配慮事項
健康・生活	来所時の健康観察、呼吸・体温・顔色・疲労等の確認、医療的ケア手順に沿った対応、姿勢調整、休息、水分・食事・排泄等の生活支援。個別の指示書・緊急時対応手順を確認する。
運動・感覚	専門職等の評価と個別支援計画に基づくポジショニング、無理のない関節運動、リラクゼーション、触覚・聴覚・視覚等を活用した感覚遊び。苦痛や疲労のサインを観察する。
認知・行動	光・音・玩具・季節の素材等を用いて、注目、選択、原因と結果への気づきを促す。刺激量や提示時間を調整し、本人の反応に合わせる。
言語・コミュニケーション	視線、表情、発声、身体の動き、写真カード、スイッチ等を意思表出として受け止め、選択・要求・拒否を伝えられる機会をつくる。反応を待ち、本人のサインを共有する。
人間関係・社会性	職員や他児との安心できる関わり、歌・手遊び・季節行事などの共同体験を行う。本人のペースを尊重し、参加方法を個別に調整する。

4. 家族支援・移行支援・地域連携

家庭での様子や医療的ケアに関する情報を保護者と共有し、相談機会を設ける。保育所・幼稚園・医療機関・相談支援事業所等と、保護者の同意のもとで情報共有し、切れ目のない支援につなげる。

5. 支援にあたっての留意事項

医師の指示、個別の医療的ケア手順、緊急時対応手順及び感染対策を遵守する。支援前後の状態を記録し、変化やリスクがある場合は看護職員等と連携する。ここに記載した内容は標準案であり、実際の配置職種・設備・受入可能な医療的ケアに合わせて調整する。

支援プログラム

重心型児童発達支援及び放課後等デイサービス リベルテ

サービス：放課後等デイサービス（学齢児）

1. 基本方針

重症心身障害児及び医療的ケアを必要とする学齢児が、学校生活後も安心・安全に過ごし、本人の意思や選好を尊重した活動を通して生活の質、自己表現、他者とのつながりを育む。健康状態に配慮しながら、家庭・学校・医療等と連携し、本人と家族の地域生活を支える。

2. 支援の目標

・健康状態を観察し、休息と活動のバランスを整える。　・本人に合った姿勢や感覚刺激で快適に活動する。
・選択、要求、拒否、気持ちを本人なりの方法で伝える。　・好きな活動や季節の行事、他者との交流を楽しむ。
・家庭・学校・関係機関との連携により、生活の継続性と家族の安心を支える。

3. 具体的な支援内容（5 領域）

領域	支援内容・配慮事項
健康・生活	学校からの引継ぎ、来所時の健康観察、医療的ケア手順に沿った対応、体位変換・ポジショニング、排泄・食事等の支援、疲労に応じた休息。活動前後の変化を記録・共有する。
運動・感覚	姿勢保持、無理のない身体活動、感覚遊具や音楽・光・触感を用いた活動を提供する。本人の身体状況、拘縮・痛み・疲労等に配慮し、専門職の助言を反映する。
認知・行動	本人の興味に沿った選択活動、スイッチや玩具による因果関係の体験、活動の見通しを持てる提示を行う。刺激や課題を調整し、成功体験を積み重ねる。
言語・コミュニケーション	視線・表情・発声・身振り・写真・スイッチ等を活用し、本人の意思確認と選択の機会を確保する。学校・家庭と有効なサインや機器の使い方を共有する。
人間関係・社会性	友だちや職員との交流、音楽・制作・季節行事・地域とのつながりを楽しめるよう支援する。参加・見学・休憩など複数の参加方法を用意し、本人の意思を尊重する。

4. 家族支援・移行支援・地域連携

保護者との日々の情報共有や相談を通じて、家庭での生活を支える。学校、医療機関、相談支援事業所等と保護者の同意のもと連携し、学校生活から事業所・家庭への移行を円滑にする。本人の希望や意思表出を支援計画の見直しに反映する。

5. 支援にあたっての留意事項

医師の指示、個別の医療的ケア手順、緊急時対応手順及び感染対策を遵守する。学校からの引継ぎ事項を確認し、体調変化時は看護職員等と連携して対応する。記載内容は標準案であり、実際のサービス提供体制、職員配置、設備、受入可能な医療的ケア、個別支援計画に合わせて調整する。